

平成二十八年七月吉日

超高压および高压電線絶縁用PE設備増強を計画

株式会社NUC（代表取締役社長・佐藤 啓喜、東京都港区港南一丁目八番十五号、資本金二十億円）は、超高压および高压電線の絶縁用途に使用される架橋ポリエチレンと、併せて使用される半導電性ポリエチレンの生産設備を、二〇一八年を目途に増強することを計画しております。

株式会社NUCが東燃ゼネラルグループの一〇〇%子会社となり、三年となります。グループの高付加価値製品の強化の方針にのっとり、株式会社NUCは世界有数のメーカーとして認知されている超高压および高压電線絶縁材料（架橋ポリエチレン）のアジアでの販売に取り組んで参りました。

二〇一三年七月のダウ・ケミカルとのJV解消を機に、独自の輸出体制を確立、アジア圏内への販売体制を構築、さらには二〇一四年九月には初の海外拠点となる中国上海代表処を立ち上げたことなどが奏功し、当該分野のお客さまとの取引は拡大の一端をたどっております。

また二〇一五年には、市場のニーズに答えられる性能を有した、複数の超高压および高压電線材料（架橋ポリエチレン）の新製品の開発に成功しました。すでに当該製品の使用実績も十分ついており、独自の研究開発による市場ポジションの急速な復活を成し遂げました。

柱となる新製品の売り上げがアジアで加速した伸びを見せており、インド・中東への販売も開始しました。現在すでに販売量は現行の超高压および高压電線絶縁材料（架橋ポリエチレン）の生産設備のフル稼働相当分に達しており、お客さまの需要の増加に 대응するためにも今回の設備増強の検討に至りました。

株式会社NUCは、アジアを中心に各国へ競争力のある高付加価値製品の開発・製造・販売を推進し、アジアを代表する高機能ポリエチレンメーカーとしての地位を確立することを目指しております。